

ローソンがAWSを使うまでの軌跡 ～ 打ち破れ現行踏襲 ～

株式会社ローソン

業務統括本部 / システム基盤部 / マネージャー

進藤 広輔

Agenda

今年40周年を迎えます！

1 会社紹介

AWSの検討・利用状況

2 ローソンとAWS

AWSの活用に向けた取り組み

3 ローソンのアプローチ

AWSの活用推進のポイント

4 現行踏襲 vs チェンジ！

本日のまとめ

5 AWSの活用に向けて

今月40周年を迎えます！

1

会社紹介

AWSの検討・利用状況

2

ローソンとAWS

AWSの活用に向けた取り組み

3

ローソンのアプローチ

AWSの活用推進のポイント

4

現行踏襲 vs チェンジ！

本日のまとめ

5

AWSの活用に向けて

1. 会社紹介



私たちは“みんなと暮らすマチ”を
幸せにします。

ローソンは
コンビニエンスストア業界の
イノベーションリーダーを目指します。



社名	株式会社ローソン
所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー
代表者	代表取締役社長 玉塚 元一
設立	1975年4月15日
資本金	585億664万4千円
社員数	7,606人 (連結)
事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」の フランチャイズチェーン展開
全店舗売上高	1兆9,619億円 (連結)
総店舗数	12,276店(国内のみ)
出店エリア	国内47都道府県・中国（上海市・重慶市・ 大連市・北京市）・インドネシア・ハワイ・ タイ

1. 会社紹介



1. 会社紹介

進藤 広輔 「シンドウ コウスケ」

- 所属 業務統括本部 システム基盤部
- 職位 マネージャー
- 専門 ネットワーク&セキュリティ

【担当業務】

- AWS関連プロジェクトの統括と推進
- AWS利用に関するポリシー/ガイドラインの作成
- ネットワーク関連全般

今月40周年を迎えます！

1 会社 & 部署 & 自己紹介

AWSの検討・利用状況

2 ローソンとAWS

AWSの活用に向けた取り組み

3 ローソンのアプローチ

AWSの活用推進のポイント

4 現行踏襲 vs チェンジ！

本日のまとめ

5 AWSの活用に向けて

2. ローソンとAWS

2.1 ローソンとAWSのこれまで

2013

- 情報収集

「使える要素」
を重点的に



2014

- 構築/試用開始

検討 < 試す



2015

- 利用開始

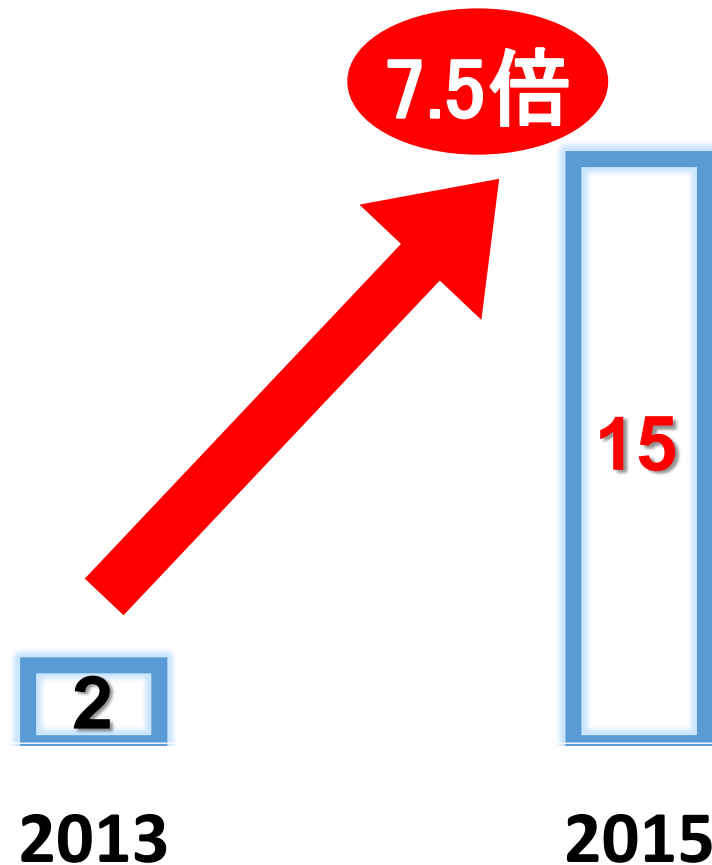
個別最適 ×
全体最適 ○



2. ローソンとAWS

2.2 ローソンのAWSの推移

(1) 検討・利用の推移



(2) 検討・利用の内訳



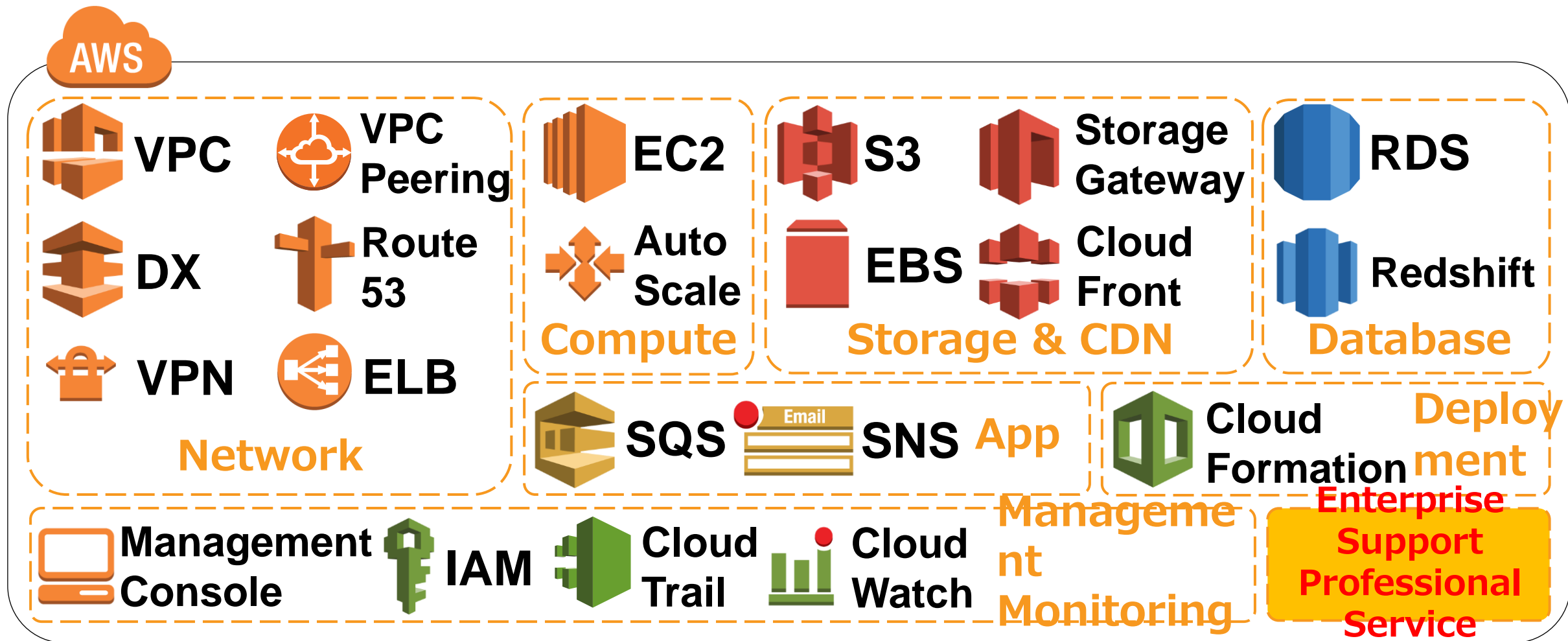
2. ローソンとAWS

2.3 利用インスタンス数

AWS サービス	開発	検証	本番
 VPC	5	12	12
 EC2	都度	100	200~500
 RDS	都度	15	30

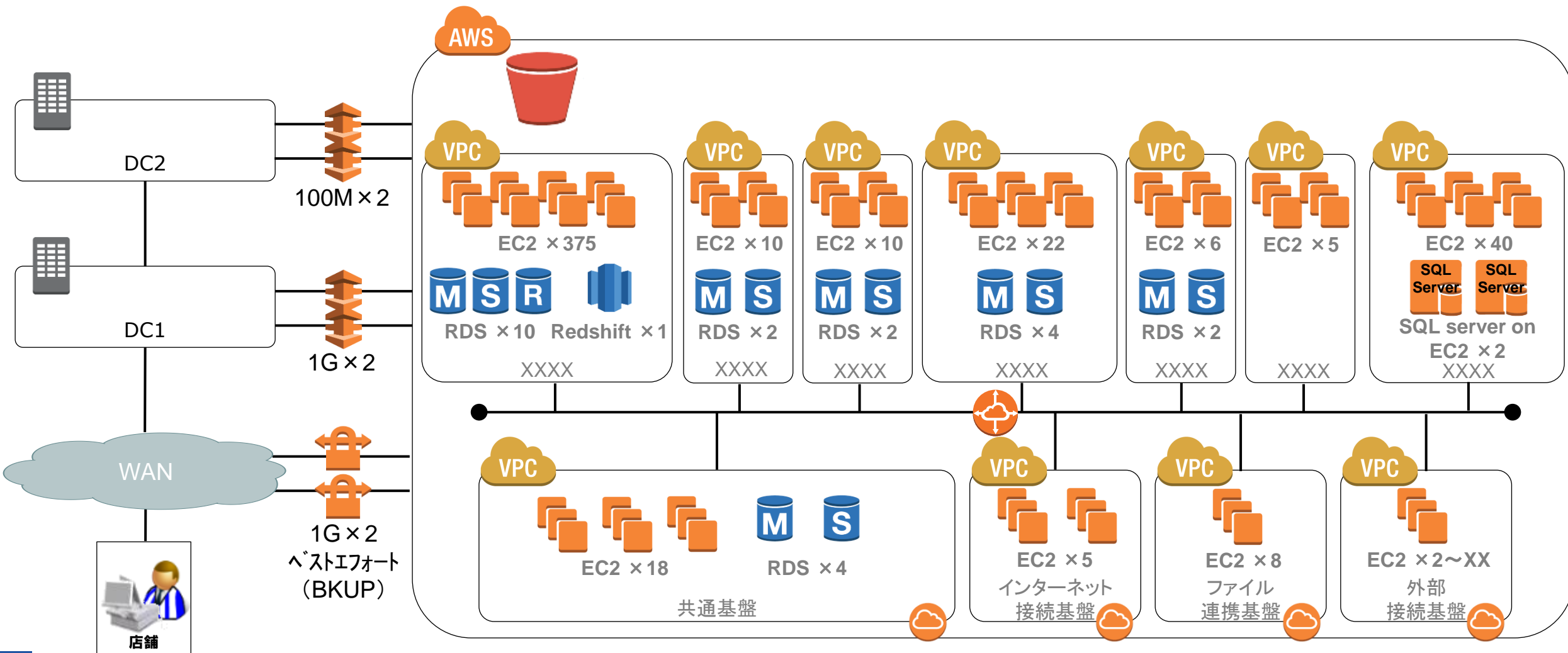
2. ローソンとAWS

2.4 利用サービス



2. ローソンとAWS

2.5 ローソン AWS Overview



今月40周年を迎えます！

1 会社 & 部署 & 自己紹介

AWSの検討・利用状況

2 ローソンとAWS

AWSの活用に向けた取り組み

3 ローソンのアプローチ

AWSの活用推進のポイント

4 現行踏襲 vs チェンジ！

本日のまとめ

5 AWSの活用に向けて

3. ローソンのアプローチ

3.1 検討当初の状況とマインド

ローソン

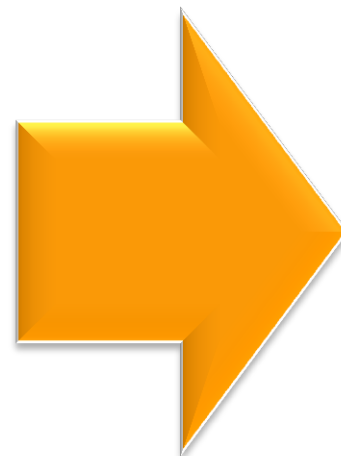
既存ベンダー



Cloud first!
Try AWS!



AWS?
AWS?
AWS?



自らが興味をもって

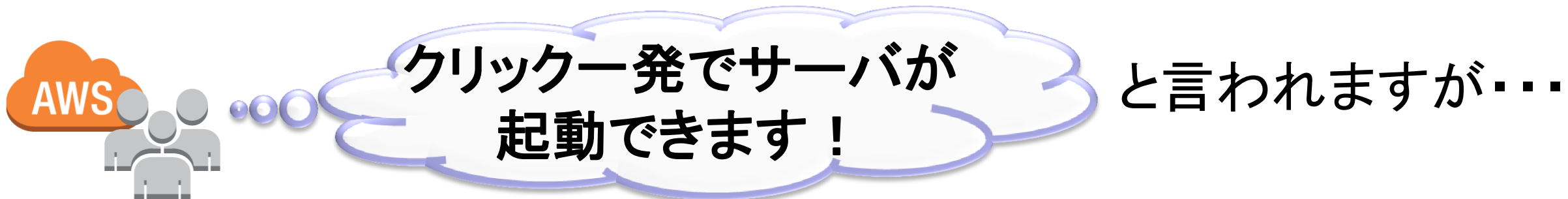
どうやったら
『使える』か?

どこに
『使える』か?

考える・聞く・試す

3. ローソンのアプローチ

3.2 最初に検討すべきポイント



そもそもAWSは「使える」のか？

例) 信頼性・性能・コスト

“今まで”はどこまで流用可能か？

例) 設計方針・運用

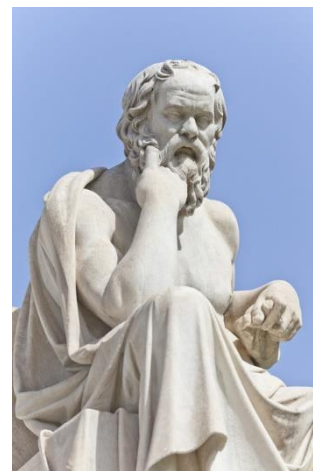
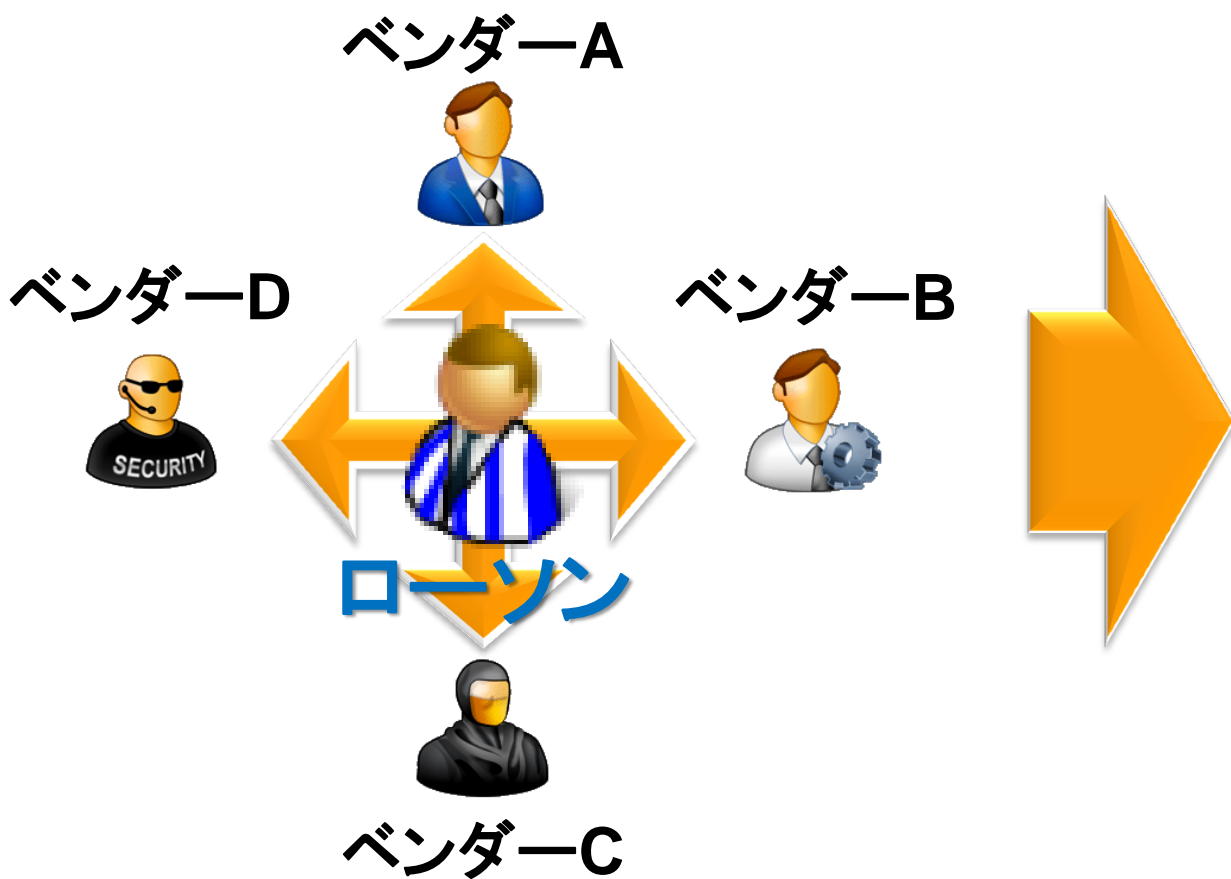
オンプレミスと何が違うのか？

例) 弾力性・マネージド

3. ローソンのアプローチ

3.3 AWS本格利用に向けて

一定の品質を保つために
『共有』された



哲学

KNOW THE RULES!

ルール

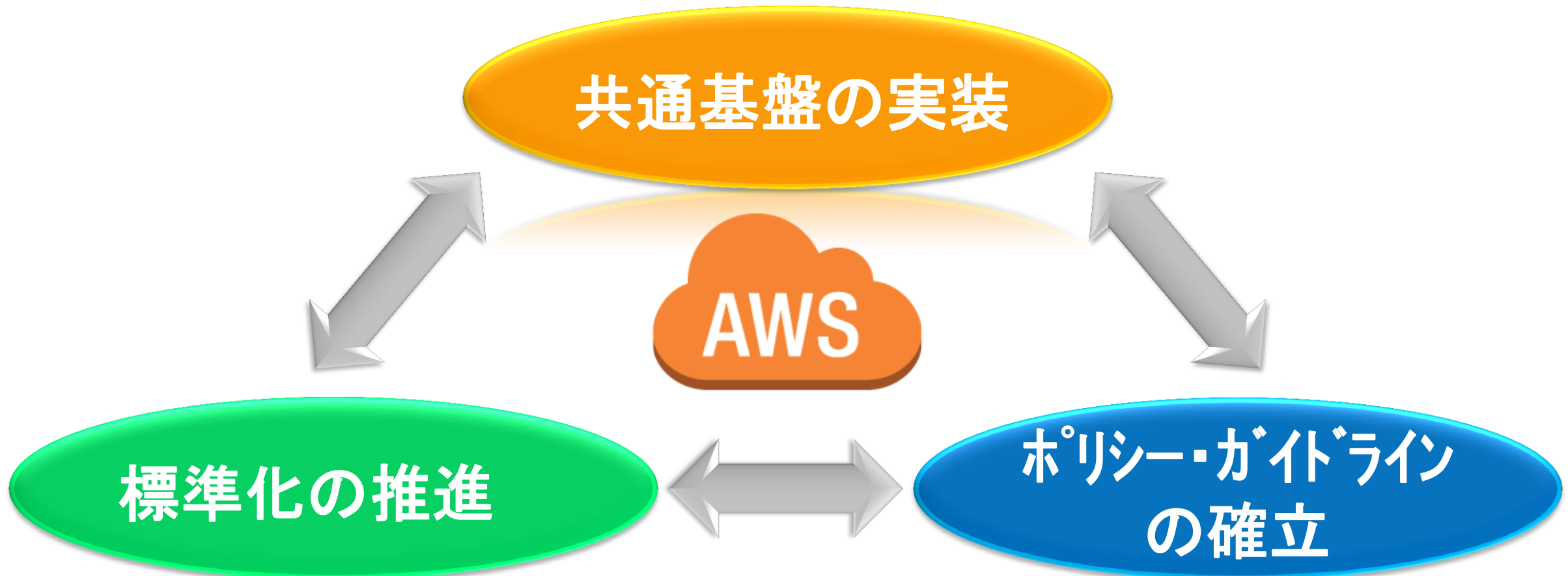
が必要



ガバナンス

3. ローソンのアプローチ

3.4 AWS本格利用に向けた取組み



3. ローソンのアプローチ

3.5 共通基盤の実装①

共通基盤の目的

全システム横断で必要な基本的機能の提供

個別最適を避け、機能重複を防ぐ

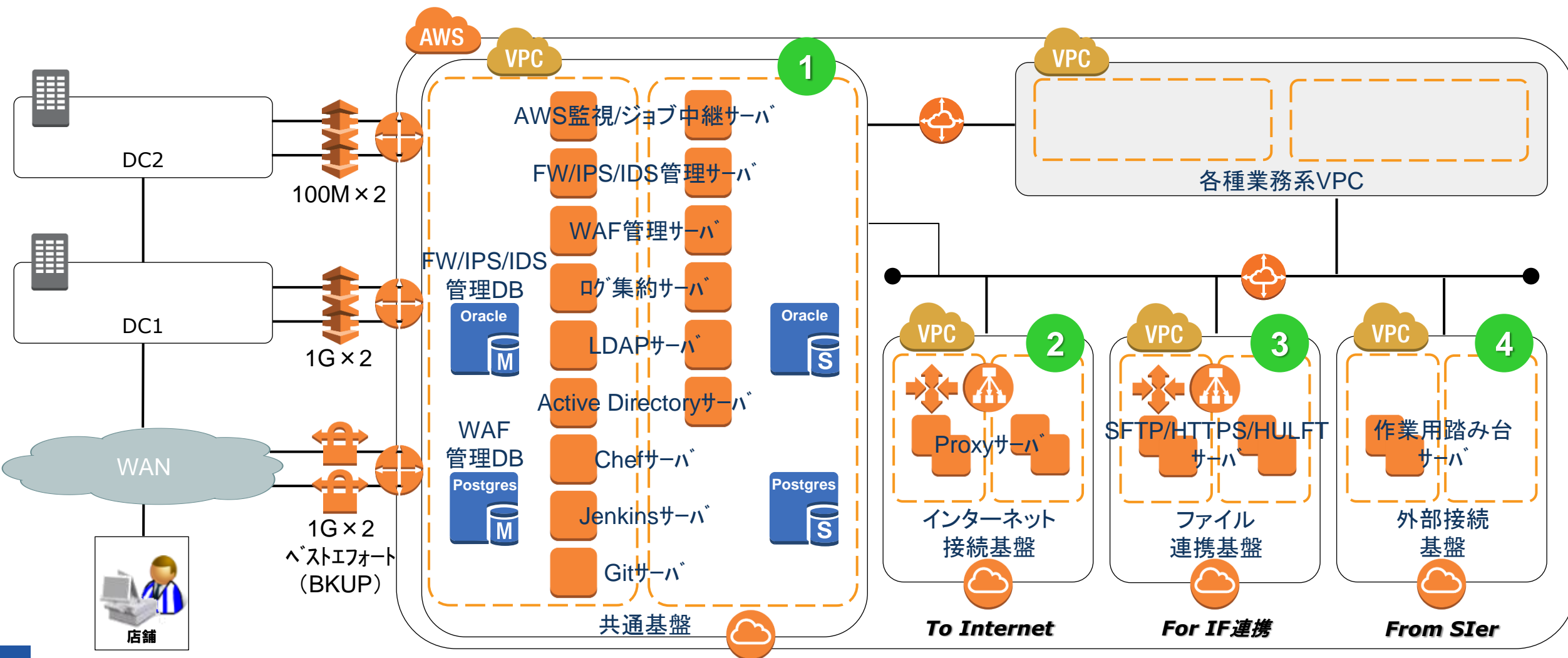
共通基盤の特徴

MW・SW・Appに左右されない機能の集合

AWS上に構築する全システムが利用

3. ローソンのアプローチ

3.5 共通基盤の実装②



3. ローソンのアプローチ

3.6 ポリシー・ガイドラインの確立①

ポリシー・ガイドラインの目的

属人化・属ベンダー化
の抑止

ベンダーに依存しない
システム構築の推進

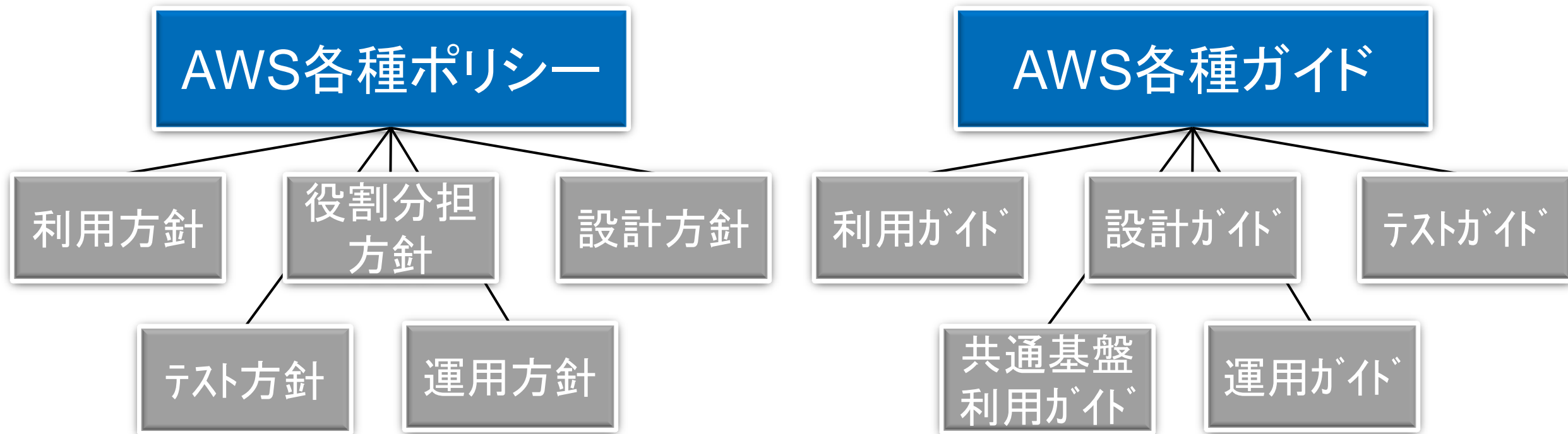
ポリシー・ガイドラインの特徴

ローソンのAWS利用に
関するルールブック

AWSを使ったシステム
構築のノウハウ集

3. ローソンのアプローチ

3.6 ポリシー・ガイドラインの確立②



ローソン AWSポリシー : 変更を禁止する不変の「憲法」

ローソン AWSガイド : 制約 / 前提条件を含む基本ルール

3. ローソンのアプローチ

3.7 標準化の推進①

標準化の目的

設計～運用までを
緩やかに統一

プロジェクト期間の
短縮化

標準化の特徴

AMIやスタックの
カタログ化

AWSの各種サービスの
パラメータを標準化

3. ローソンのアプローチ

3.7 標準化の推進②

プロジェクトの各フェーズを通じて基準・標準を設定

要件定義

設計

構築

テスト

- サービス選定基準
- OSパラメータシート
- AWSサービスパラメータシート
- AWSサービスパラメータ
- AWS構築標準WBS
- AWS構築チェックシート
- カatalog AMI (24種)
- インフラ標準結合テストケース

今月40周年を迎えます！

1 会社 & 部署 & 自己紹介

AWSの検討・利用状況

2 ローソンとAWS

AWSの活用に向けた取り組み

3 ローソンのアプローチ

AWSの活用推進のポイント

4 現行踏襲 vs チェンジ！

本日のまとめ

5 AWSの活用に向けて

4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.1 AWSの利用を阻む最大・最強の敵

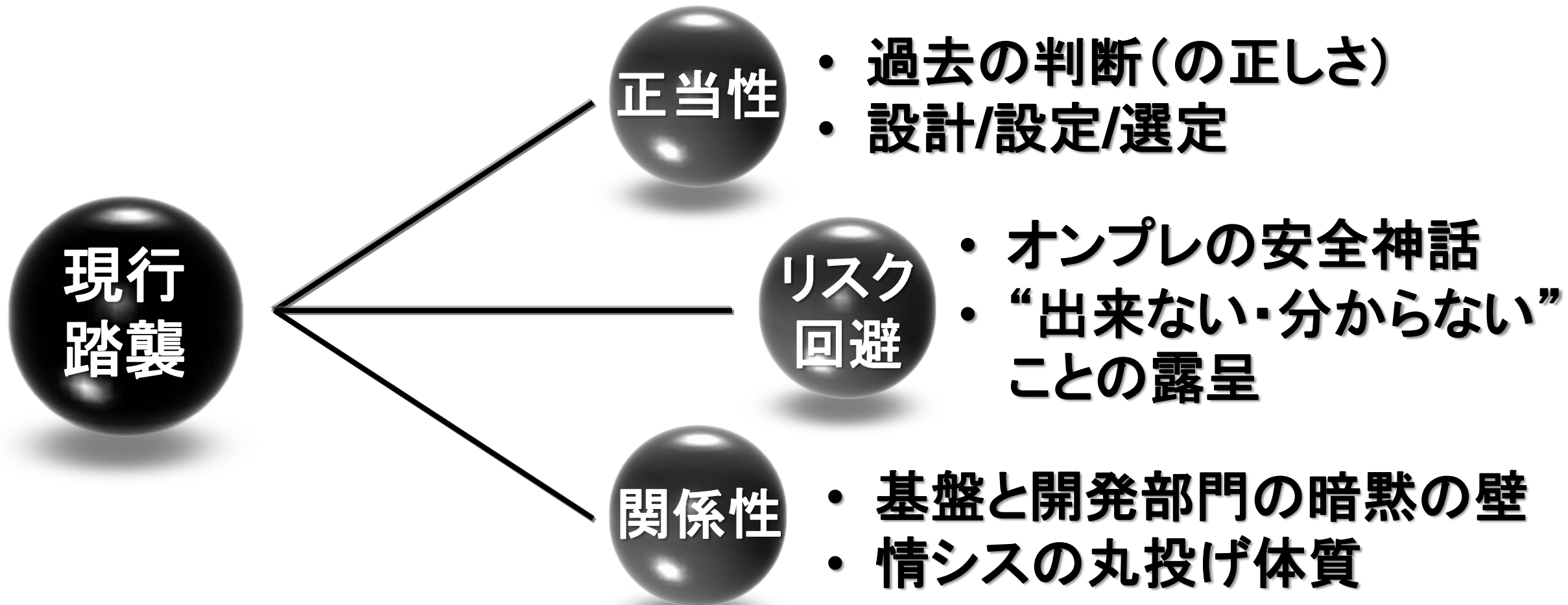
現行踏襲・・・



- 思考停止
- イノベーション減退
- 旧態依然
- 機会喪失
- モチベーション低下

4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.2 現行踏襲により守られる？もの



4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.3 現行踏襲を打ち破るには？

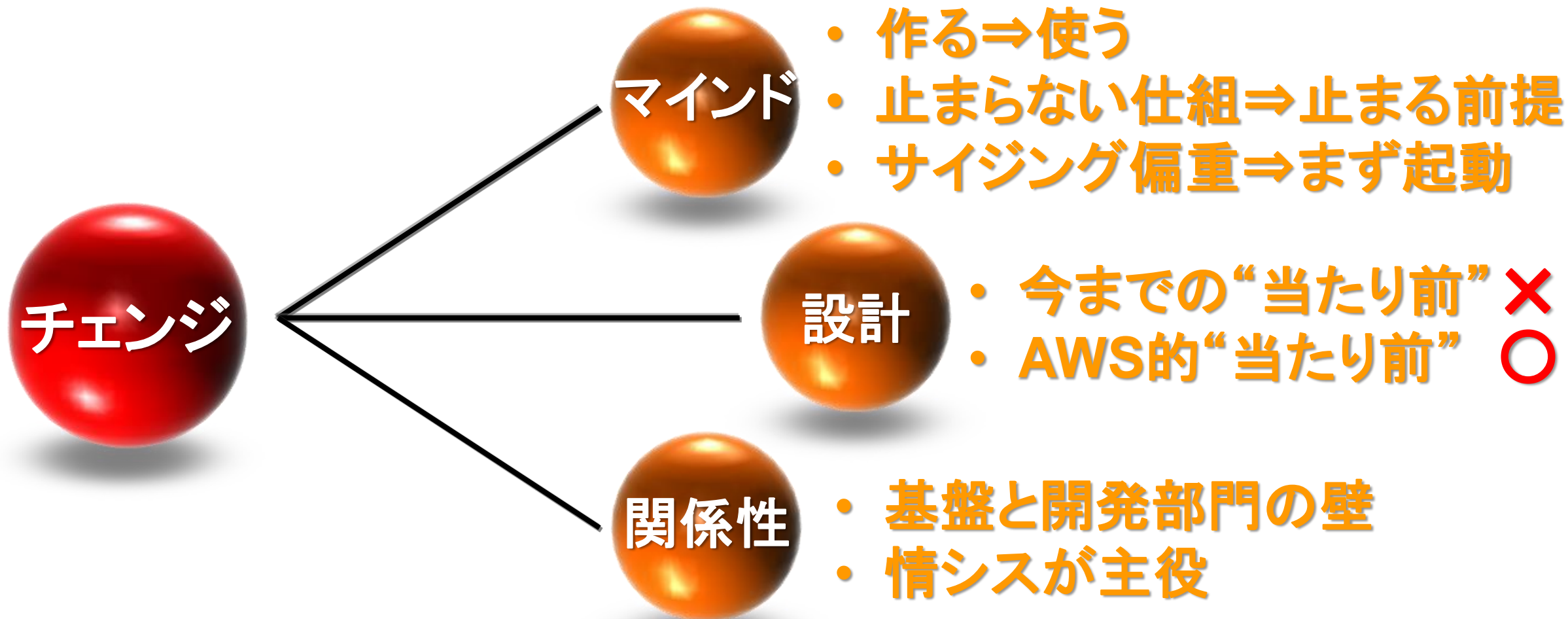


Change !

- 考える
- 違いを知る
- 自らトライ
- 柔軟に
- 守備範囲を広げる

4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.4 現行踏襲の打破に必要な『チェンジ！』



4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.5 チェンジ！その1 『マインド①』

現行
踏襲

システムは構築する

AWS
活用

システムは使うもの

現行
踏襲

何が何でも24/365

AWS
活用

影響無しなら停止OK

- マネージドサービスを優先利用
- インスタンスカタログ化

- 自動復旧前提



ELB+AutoScale



RDS
Multi-AZ



4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.5 チェンジ！その1 『マインド②』

現行
踏襲

早期にきっちりサイジング

AWS
活用

とりあえず起動

現行
踏襲

システムを使い続ける

AWS
活用

不要になったら捨てる

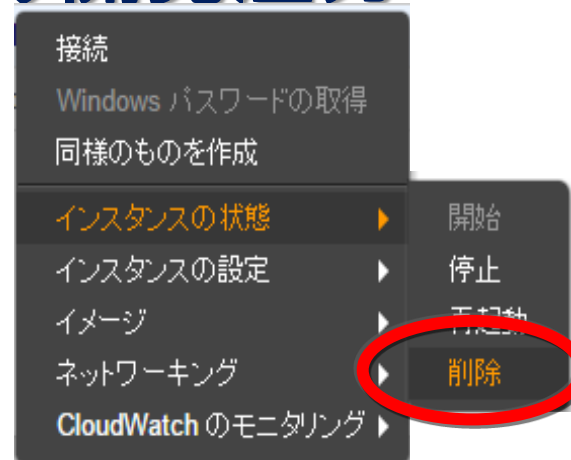
現行



AWS



- サイジングは性能試験後でOK
- 調達無し⇒アプリ開発注力
- 不要になったら削除
⇒色々試せる！



4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.6 チェンジ！その2 『設計①』

現行
踏襲

IPアドレスでアクセス

AWS
活用

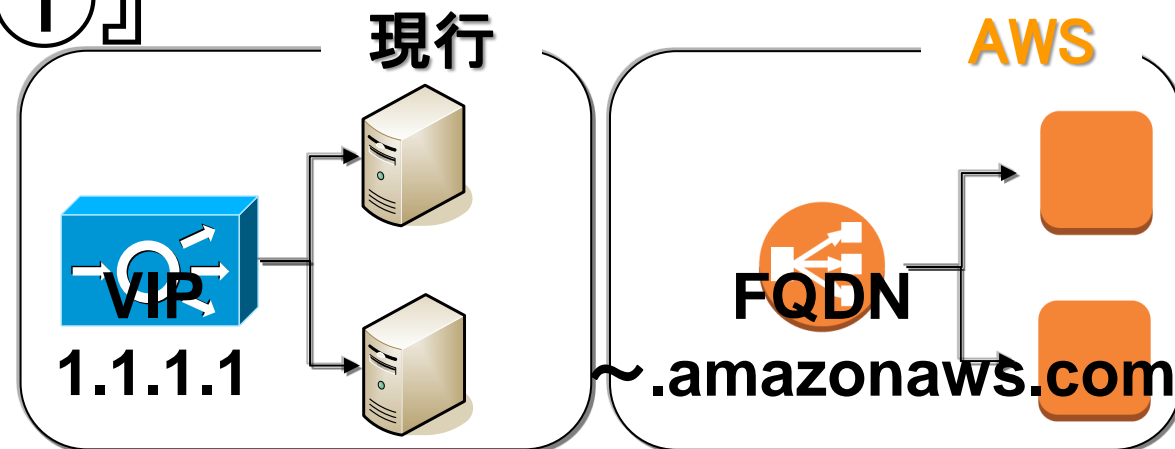
FQDNでアクセス

現行
踏襲

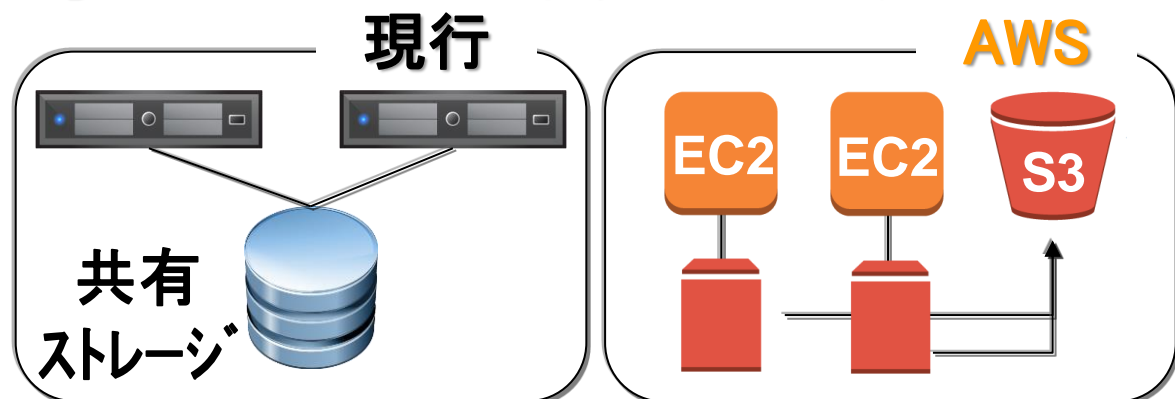
データはローカル/共有DISK

AWS
活用

データは腹持ちしない



- ELB/EC2のIPは変わる
- オンプレのキャッシュに注意



- S3を使いこなすのがカギ

4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.6 チェンジ！その2 『設計②』

現行
踏襲

ピーク特性でサイジング

AWS
活用

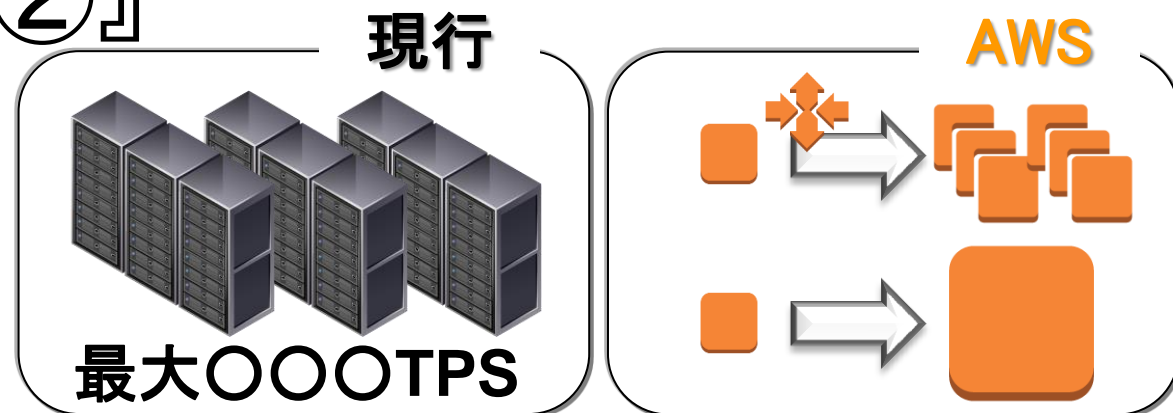
スケールアップ/アウト

現行
踏襲

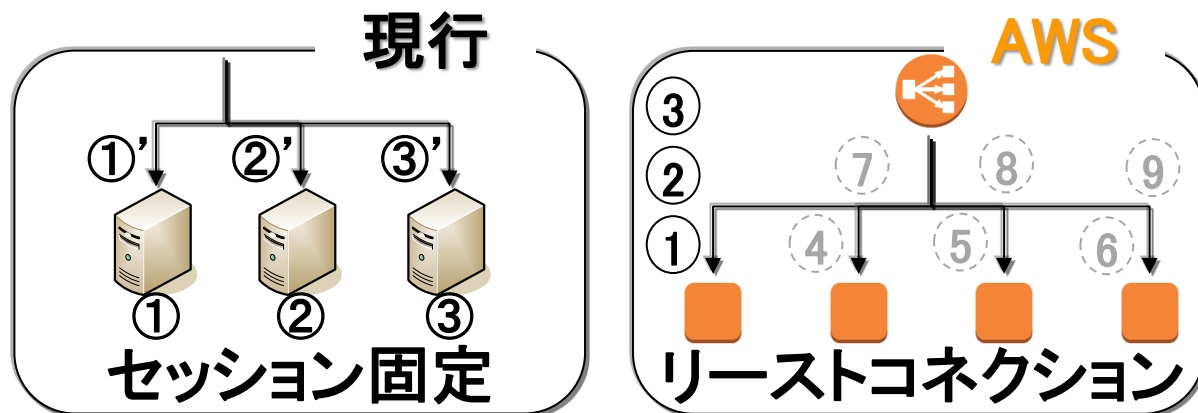
セッションステートフル

AWS
活用

セッションステートレス



- ・ポリシーに応じて多く/大きく



- ・負荷に応じて並列分散処理
⇒ただしセッション管理は必要

4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.7 チェンジ！その3 『関係性』

現行
踏襲

インフラ vs アプリ

AWS
活用

インフラ・アプリ連合

現行
踏襲

既存ベンダーに依存

AWS
活用

情シスが主役

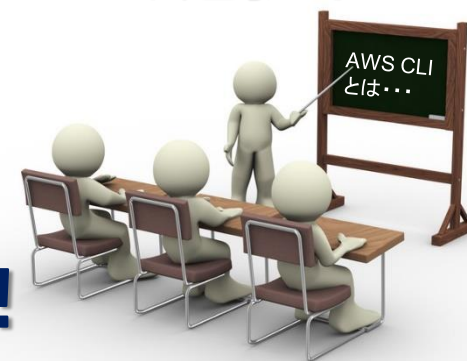
- AWSはPaaSが豊富
⇒境界が無い
- 数日でデプロイ

- ベンダーはAWSが専門ではない
- AWSは情シス主導で使い倒す！

AWSなら
間に合う



只今勉強中...



4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.8 チェンジ！の道筋

情シスの
バリュー

周囲の環境を変える

現行(オンプレ)との違いを理解する

AWSを正しく理解する

情シス自らのマインドを変える

チェンジ！
の浸透

4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.9 参考(チェンジ！に向けて①)

どこから手をつければ...



チェンジ・チャレンジ
したい情シス

まずはここから

調査

過去の要求仕様

現状の本当の姿

比較

4. 現行踏襲 vs チェンジ！

4.9 参考(チェンジ！に向けて②)

過去の要求仕様 — 現在の本当の姿 = 乖離 **大**

稼働率	99.999以上	99.8程度も…	大
復旧目標	3分以内	1時間以上も…	大
使用率	ピーク時で〇〇	CPU/Mem1桁台	大

こういった傾向のシステムはAWSとの相性は◎

今月40周年を迎えます！

1 会社 & 部署 & 自己紹介

AWSの検討・利用状況

2 ローソンとAWS

AWSの活用に向けた取り組み

3 ローソンのアプローチ

AWSの活用推進のポイント

4 現行踏襲 vs チェンジ！

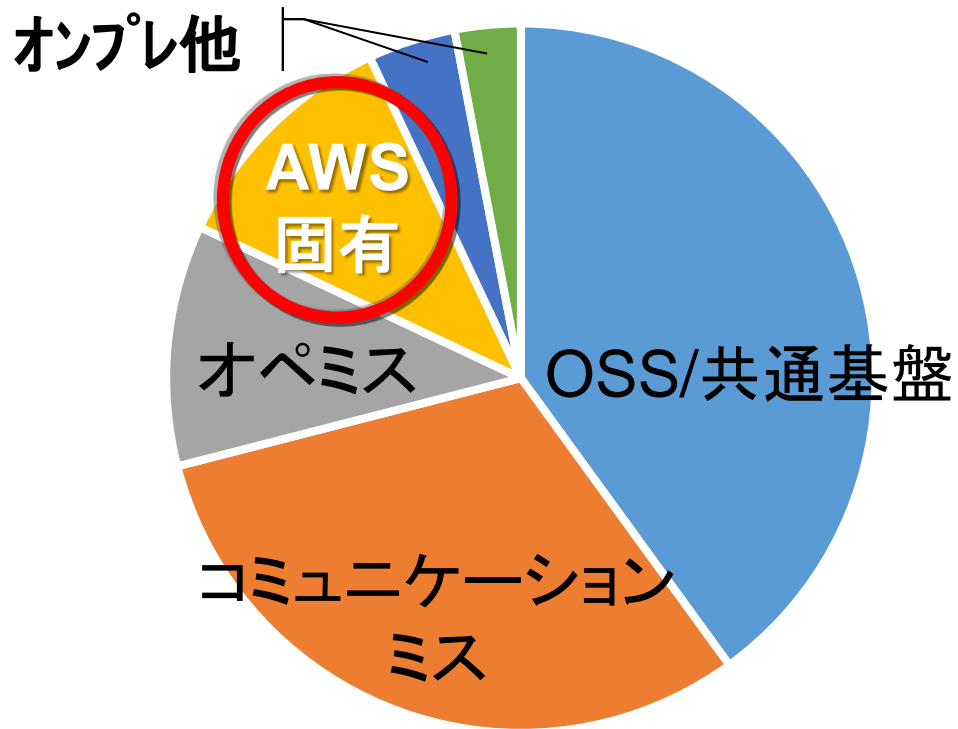
本日のまとめ

5 AWSの活用に向けて

5. AWSの活用に向けて

5.1 ここまでAWSを利用してみて

(1) システムX構築時の
発生課題要因



(2) システムX構築時の
テスト環境イメージ

環境	N月	N+1	N+2
ステージング	1		
結合テスト	2		
総合テスト		3	
性能テスト	4		
移行テスト			5

5. AWSの活用に向けて

5.2 ローソンのチャレンジとAWSへの期待

Cloud Firstの加速

Cloud と次世代システムの融合

誰でも・いつでも・どこでも Cloud

with



ご清聴ありがとうございました。